

令和元年度北海道公立学校事務長会第1回理事研究協議会

日時：令和元年7月12日（金）13:30～

場所：ホテルライフオー札幌



令和元年度第1回目となる理事研究協議会が各支部の理事15名及び本部役員が出席し開催されました。

1 坂井会長挨拶

○ 本日は、第1回理事研究協議会に御出席をいただき誠にありがとうございます。また、日頃より事務局からの急な調査や意見集約にも御対応いただくなど、本会の業務推進に御協力をいただいておりますことを、心より感謝申し上げます。

本日は、元号が平成から令和に変わってから初めての理事研究協議会となります。本部役員も替わり新体制でのスタートとなりました。どうぞよろしくお願いいたします。



○ 本日はこのあと、各部、各担当からの報告や協議事項が数多く用意されておりますが、その中で「第37回北海道公立学校事務長研究協議会」の内容審議等がございます。昨年9月、大会直前というところで急遽中止せざるを得なかった訳ですが、主管の後志支部・曾根支部長はじめ支部事務長の皆様方の大会運営準備への多大なご尽力に対し感謝しますと同時に大変ご迷惑をおか

けし、非常に申し訳なく思っております。そのような経緯から、本研究協議会は2年ぶりの開催ということとなります。すでに参加の集約が始まっており皆さんご承知のこととは思いますが、後志支部さんには昨年度の内容をほぼ引き継ぐ形で主管業務をお任せさせていただきました。改めて感謝いたします。

今年の5月の末に開催された全国事務長会の「地区代表者会議・理事研究協議会」におきまして、昨年の本道の研究協議会中止の原因にもなりました台風21号、その翌日の胆振東部地震の状況を、全国本部の会長より理事会の中で説明をお願いされまして、私の方からは当時の状況の概略を、そして全国理事として出席した山寺副会長からは更に詳細な状況の説明を行いました。全国本部の皆さんも、当時はとても心配してくださっていたということでした。

未だ地震の被害から抜け出せず、現在も大変厳しい生活を強いられておられる方々のことを思いますと、もうあのような災害は起きてほしくないと願うばかりなのですが、あのとき私たちも多くの教訓を得たのではないかと、という思いもございます。このような災害が起きたとき、管理職はどう判断し、どう行動するのか、職員への指示、生徒や家庭の安全確認、あるいは、生徒が学校にいる時間帯であったなら、もし真冬の時期に起きていたなら、など、さまざまな危機管理における対策が各学校で議論され、今後の「もしも」という時の対応のシミュレーションを行ったのではないかと思います。

- 次に、今高校や特別支援学校で動き始めました「マイナンバー制度の活用」について触れさせていただきます。

特別支援学校においては、『就学奨励費』支給区分決定手続きのためのマイナンバー制度の活用が、すでに今年度から始まっており、近々道教委よりマイナンバー登録の手続きが完了した保護者の所得データが学校へ送付される予定です。

また、高校では、来年度の『就学支援金』事務における所得確認手続きに向けた準備業務が始まろうとしています。

来年度は、高等学校や中等教育学校でもこのシステムを利用した事務処理が実際に行われるわけですが、生徒数の膨大さや、保護者への説明、それに従来のペーパーでの課税証明の提出も併用されることから、担当される職員の方も、非常にご苦労されることと思われます。そして処理を進めていく中で、何かしらの問題点や課題が見えてくるかもしれません。その場合は、事務長会としましても、より一層の効率化を図るため、また、学校現場に混乱が生じることのないよう、修正・改善を求めていきたいと考えています。

- 次に、今後の「全国公立学校事務長会研究協議会」についてです。「東京都開催」と「地方開催」を隔年で交互に実施されており、今年度は東京で開催され、来年度令和2年度は東北地区主管により青森県で開催されます。

この青森大会では、北海道が研究発表を行うことになっております。テーマは、これまで本部調査研究部が取り組んで参りました「異動時の引き継ぎ事項」を基に、内容を更に充実させたものとなる予定です。全国本部からは、この研究テーマが全国大会での発表を前提とした助成対象の研究と認められ、今年度、助成金をいただくことが決定しております。

青森県は、全国大会の開催地としては北海道から一番近い場所でもあります。是非この機会に北海道新幹線を利用して、一人でも多くの方に青森大会へ参加していただき、北海道からの研究

発表を聴いていただきたいと思います。

そして、その２年後の令和４年度には、ついに全国大会が北海道へやって参ります。前回の北海道大会は平成２０年に開催されましたので、実に１４年ぶりの開催となります。

会場の確保など、できることは今年度から進めて参りたいと考えております。皆様のお知恵をお借りしなければならない場面もでてくるかと思しますので、今後とも御協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

- 最後に「事務改善」についてです。このテーマについては、事務長会では、もう１０年ほど議論をしてまいりました。

そして、３年前に全道の事務長の皆様のお力添えをいただきながら「道立学校の事務改善に関する提言」を道教委に提出しました。その提言の中の一つに「事務改善推進会議の設置」という項目があり、その内容は『支援室と事務室が定期的に、改善に向けた情報交換ができる場をもうけ、共通理解を図りながら、業務内容の調整など、集約業務の検証と改善の意識をもっていただきたい』というものでした。

これを受けた形で道教委により、昨年度、上川教育局と日高教育局で「検証会議」というモデル会議が試行的に実施されました。上川における会議については、昨年１１月に開催された「調査研究推進委員研究協議会」において、上川支部より報告をいただいたところです。

関係課におきましては、この実績を生かし、今年度は、さらに検証を進めていく方向である、というふうにも聞いておりますが、さらなる事務の効率化、省力化が進められるよう、我々事務長会としても、現場の声を伝え続けていかなければならないと考えております。。

- そしてこの他に、事務長昇任候補者の不足、事務主任未配置校の増加、併せて人材育成の問題など、これら一朝一夕で解決・解消することのできない喫緊の問題・課題がございます。

また、「働き方改革」が叫ばれる中、その実効性を高めるために、管理職として事務長の私たちが積極的に行動していくことも求められています。

今後も、文教施策の要望等で、高等学校長協会、特別支援学校長会、そしてそれぞれの教頭・副校長会と連携を図り、また、道教委関係各課と意見交換をしながら、さらなる改善を進め、課題解決に取り組んで参りたいと考えておりますので、引き続き支部長の皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げ、開会の挨拶といたします。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

2 本庁所管事項説明

- ・総務政策局総務課総括グループ 高橋 和孝 主幹
「道立学校の事務改善について」
- ・総務政策局総務課決算・会計指導グループ 立花 博史 主幹
「道立学校私費会計事務処理マニュアルについて」
「財務事務随時指導について」

3 日程説明

4 議長選出

留萌支部 松村事務長（留萌高等学校）選出

5 議長就任挨拶

6 議 事

(1) 報告事項

① 副会長（渉外担当）所管事項

- ・全国事務長会第1回地区代表者会議・理事会報告（令和元年5月31日）
- ・令和元年度第1回学校における働き方改革促進会議報告（令和元年5月30日）

② 事務局長所管事項

ア 令和元年度会務処理状況

イ 令和元年度事務長会の組織構成

- ・令和元年度北海道公立学校事務長会本部・支部役員一覧
- ・令和元年度関係団体等派遣役員一覧
- ・令和元年度教育関係団体役員名簿

ウ 事務長会加入状況

エ 理事研究協議会議長担当順番表

オ 会計所管事項

③ 総務部所管事項

ア 令和2年度北海道文教施策要望について

④ 調査研究部所管事項

ア 第37回北海道公立学校事務長研究協議会について

⑤ その他

(2) 協議事項

① 令和元年度事業推進計画について

ア 総務部所管事項

- ・令和元年度総務部事業推進計画（案）

イ 調査研究部所管事項

- ・令和元年度調査研究部事業推進計画（案）

② その他

7 議長退任挨拶

8 研究協議

(1) 当面する課題について

意見交換事項

① 事務体制の現状について（釧路支部）

② 勤務割振について（日高支部）

③ 「北海道立学校ふるさと応援事業」について

9 その他

10 閉 会